



みずほ

第 53 号

平成28年 9 月 1 日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲朝日大学における期日前投票の様子（6月24日）

平成28年第1回瑞穂市議会臨時会(5月)、第2回瑞穂市議会定例会(6月)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ●新議員による議会構成が決まる … 2 p～ 3 p | ●議会活動日誌（4月～7月） …… 8 p |
| ●第1回臨時会（5月） … 3 p～ 4 p | ●一般質問(14人) ～市政を問う～ … 9 p～ 15p |
| ●第2回定例会（6月） … 4 p～ 8 p | ●議案の審議結果・編集後記 …… 16p |
- 総括質疑～各委員会審査～本会議

議会構成決まる

第1回瑞穂市議会臨時会が開催された5月2日、新たな議会構成が次のとおり決定した。

平成28年4月17日に行われた瑞穂市議会議員選挙で当選した新議員による初議会を、5月2日に、第1回瑞穂市議会臨時会として開催した。

本臨時会では、正副議長選挙をはじめ各常任委員や議会運営委員等を選任したほか、市長から提出された議案8件などを審議し、すべて可決して同日閉会した。

また、6月9日からは、第2回瑞穂市議会定例会を20日間の会期で開会した。

本定例会では、市長から提出された議案7件のほか、請願1件、議員が提出した意見書2件を審議した。

請願1件、意見書1件を否決としたほか、その他の議案は原案のとおり可決して28日に閉会した。

【議長選挙】
3名の議員が議長選挙に対して立候補の所信表明を行ったあと、投票により議長を決定した。

投票結果：
藤橋 礼治 10票
広瀬 武雄 7票
小川 理 1票



議長 藤橋 礼治

この度の平成28年第1回臨時会におきまして、議長に就任いたしました。光栄に存じますとともに、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

瑞穂市におきましては、待機児童の問題など、多くの課題がありますが、議会といたしましても安心・安全で魅力あふれるまちづくりを進め、選ばれつづけるまちを目指し、真剣に取り組んでいきたいと考える次第であります。

それぞれの議員が平等な立場で、議員全員が一丸となって、市民の期待に応えられるよう精いっぱい努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【副議長選挙】
2名の議員が副議長選挙に対して立候補の所信表明を行ったあと、投票により副議長を決定した。

投票結果：
庄田 昭人 10票
松野 藤四郎 8票



副議長 庄田 昭人

この度、議員各位より多数のご推挙を頂き、副議長に就任いたしました。

地方自治体を取り巻く社会・経済情勢が刻々と変化していくなかで、市議会においてもより一層果たすべく役割と責任が求められております。議会の円滑な運営に取り組み、議長の補佐役として、微力ではありますが支えてまいりたいと思います。

行政と議会が切磋琢磨して、地域の実情に応じたまちづくりを進めていくことが求められている今、「住みやすいまち 選ばれるまち瑞穂」となりますよう、安全・安心なまちづくりに努めさせていただきます。

皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

議会運営委員会
〈所管事項〉議会の会期日程や議案・請願などの取り扱い、議長の諮問事項などについての協議



委員長 広瀬 武雄



副委員長 若園 五朗



くまがいさちこ



若園 正博



杉原 克巳

総務委員会

〈所管事項〉企画部、総務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、並びに他の常任委員会、所管に属さない事項についての審査



委員長 長 森 治久



副委員長 清水 治



若園 五朗



若井 千尋



北倉 利治



今木啓一郎

産業建設委員会

〈所管事項〉都市整備部、環境水道部、農業委員会、の所管に属する事項についての審査



委員長 長 瀬 時男



副委員長 若園 正博



広瀬 武雄



庄田 昭人



杉原 克巳



松野 貴志

文教厚生委員会

〈所管事項〉市民部、福祉部、東南庁舎管理部、教育委員会の所管に属する事項についての審査



委員長 くまがいさちこ



副委員長 鳥居 佳史



藤橋 礼治



松野藤四郎



堀 武



小川 理

会派結成

次の8つの会派から結成届が提出された。

会 派 名	届出日	所属議員名 ◎は代表者
新 生 ク ラ ブ	5月2日	◎若園 五朗 広瀬 時男
瑞 清 ク ラ ブ	6月2日	◎清水 治 松野 貴志
創 生 ク ラ ブ	5月2日	◎若園 正博 今木啓一郎
民 進 党 瑞 穂 会	5月2日	◎松野藤四郎
改 革	5月2日	◎くまがいさちこ
み づ ほ 会	5月2日	◎堀 武
公 明 党	5月1日	◎若井 千尋
日 本 共 産 党	5月2日	◎小川 理

平成28年 第1回臨時会(5月)

平成28年第1回瑞穂市議会臨時会は、5月2日に1日間の会期で開会した。

議会の構成を決めた後、もともとは広域連合議会議員を選挙し、次に、議案の審議に入った。市長から提出された議案は8件で、すべて原案のとおり可決した。

審議内容

承認 瑞穂市税条例等の一部を改正する条例についての専決処分について

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、市条例の関係部分を改正する専決処分をしたので、これを報告し議会の承認を求めるもので、議会は全会一致で可決した。

承認 瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分について

地方税法施行令等の一部を改正する等の政令の公布に伴い、市条例の関係部分を改正する専決処分をしたので、これを報告し議会の承認を求めるもので、議会は賛成多数で可決した。

承認 平成27年度瑞穂市一般会計補正予算(第7号)の専決処分について

ほづみ幼稚園保育棟改修工事において、補強工事が必要になったことをうけて継続費に係る補正予算を専決処分したので、これを報告し議会の承認を求めるもので、議会は全会一致で可決した。

同意
瑞穂市固定資産評価員の選任について

平成28年4月1日の瑞穂市役所の人事異動により、桑原秀幸税務課長が固定資産評価員の職を離れたことから、新たに後任を選任するもので、議会は全会一致で同意した。

税務課長 棚橋 正則

可決
別府水源地配水池新設工事請負契約の締結について

一般競争入札を実施したところ、株式会社松野組が落札したので、契約を締結することについて議会の議決を求めるもので、議会は賛成多数で可決した。

可決
瑞穂市防災行政無線通信施設条例の一部を改正する条例について

同報系受信（子）局の所在地を変更したため市条例の改正を行うもので、議会は全会一致で可決した。

総括質疑

可決
平成28年度瑞穂市一般会計補正予算（第1号）

Q 自治会公民館補助金150万円の内容は、またどの自治会か。

A 田之上公民館のエアコンの取りかえ、小橋公民館の床と外壁の修繕、宮田公民館のトイレの改修という3つの公民館の修繕である。自治会から要望されている事業費の3分の1が150万円である。

Q 市全体の地域公民館の整備の必要性は執行部も認識しているにもかかわらず動きがない。今後の予定は。

A 各自治会に昨年11月に今後の建て替え計画や修繕の計画を聞き、今まとめている。その現状と市の方向性を、今年度中に報告する予定である。

Q どういう財源が市として一般財源の中にある、これから使っていくのか。

A 目的のある基金は、その目的のために使う。減債基金については、借りているもの（借金）を返す時に使う。財政調整基金は、財源がどうしても国県補助金や市税等の自主財源で賄い切れない場合に使用し、予算の組み立てをしている。災害時については予備費で対応することが通常である。

Q 瑞穂消防署の訓練場整備というこ

可決
瑞穂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い、市条例の改正を行うもので、議会は全会一致で可決した。

同意
瑞穂市監査委員の選任について

監査委員の選任について、議会の同意を求める議案が提出された。任期満了に伴い欠員となっていた監査委員を議員のうちから選任するため、議会の同意を求めるもので、議会は全会一致で同意した。

堀 武 本田 （敬称略）

もとす広域連合議会議員の選挙

※次の7人の議員が当選した。

松野藤四郎	くまがいさちこ
若園五朗	広瀬武雄
清水 治	若井千尋
森 治久	

とで54万円計上されているが土地の購入目的は。

A 消防署においては、署員の消防技術の向上を図るために各種訓練を実施しているが、訓練スペースが十分でないため充実した内容の訓練が実施できない状況である。

市内のグラウンド等で訓練を実施しているが、署から離れた場所での訓練は緊急時の出勤があった場合に支障を来すおそれがあるため、東側に訓練場を確保する。

可決
平成28年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

Q 電算処理委託料74万円の電算処理の内容は。

A 国民健康保険事業そのものが平成30年度から県単位となり、財政基盤を担うのが都道府県ということになってくる。その準備のためのシステム改修ということとで予算計上した。

当市においては、県下35団体が同一に使用する岐阜県行政情報センターが開発したシステムを使用する。情報センターと協議をして、このシステムと互換性を持たせ連携対応ができるようにシステム改修の依頼をした。

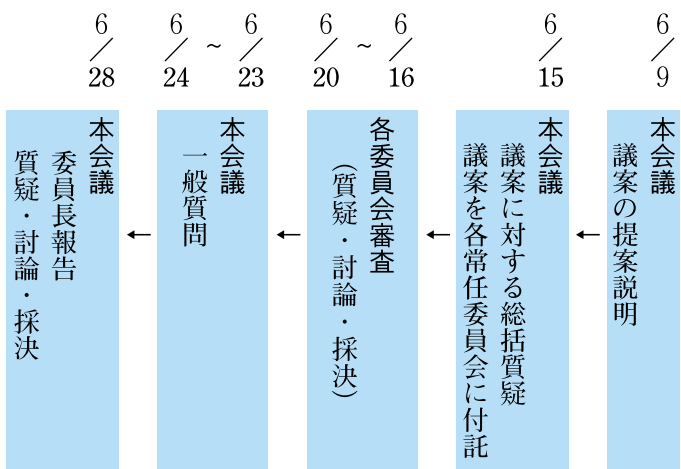
Q 42市町村中、瑞穂市を含む35団体以外のシステムを使用しない市町はどのようになっているのか。

A 今回開発された国保保険者の標準事務処理システムを導入する、あるいは

平成28年 第2回定例会（6月）

定例会初日の6月9日には、上程された議案の提案説明が行われた後、人事案件1議案、契約の締結1議案については、委員会付託を省略してその日に質疑・討論・採決を行った。

残りの議案については、6月15日に議案に対する総括質疑を行い、その議案を各常任委員会に付託し、委員会にて審査した。（議案内容は、広報みずほ7月号をご覧ください。）



適任
人権擁護委員の候補者の推薦について

新たに小川裕幸氏を候補者として推薦するため議会の意見を求めるもので、議会は全会一致で適任とした。

小川 裕幸 居倉 （敬称略）

可決
（仮称）野田歩道橋整備下部工事請負契約の締結について

（仮称）野田歩道橋整備下部工事にあたり、一般競争入札を実施したところ、株式会社松野組が落札したので、契約を締結することについて議会の議決を求めるもので、議会は賛成多数で可決した。



るのか。

A これから説明していく。

各委員会審査

産業建設委員会 6/16

産業建設委員会に付託された議案は次の2議案で、その結果と主な審査内容は次のとおり。

結果	議 案 名
可決	市道路線の認定について
可決	市道路線の廃止について

可決
市道路線の認定について

可決
市道路線の廃止について

Q 今回の市道路線の認定・廃止について市民に不利益が無いように対応しているのか。

A 今回廃止を予定している路線を挟んで東西の土地所有者は、道路認定がしてあったとの認識は無い。このまま、道路認定が継続されると、斜線規制等、建築上の制限がかかり、土地利用上、不利益を被る可能性があるため、廃止が望ましい。

新たに認定する道路の現況は、道路形態をなしており、認定をしないと、奥の土地の所有者が将来的に不利益を被る可能性がある。

可決 平成28年度瑞穂市国民健康保険
事業特別会計補正予算(第1号)

【Q】瑞穂市市道の認定に関する基準の中で、市長が別に定めるとあるが、その運用・内容については。

【A】市道認定基準第3条には、今回の件に該当する規定がないため、市長決裁とした。今後は、第3条に今回のケースを規定するよう改正を検討していきたい。

【Q】資料49-1の認定道路の終点となる矢印部分が私有地に入っているのではないのか。

【A】ご指摘のとおり資料49-1の認定道路の終点となる矢印部分が長い、新たに認定する道路は私有地には入らないので、資料の訂正をさせてもらう。

付託された2議案について、本委員会では採決の結果、全会一致で原案のとおり可決され、本会議に報告されることとなった。

文教厚生委員会 6/17

文教厚生委員会に付託されたのは、議案1件と請願1件で、その結果と主な審査内容は次のとおり。

結果	議案名
可決	平成28年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
不採択	所得税法第56条の廃止を求める請願

【Q】なぜ青色申告ではないのか。

【A】もともと青色申告で記帳の義務化を推進してきた。その特典として家族従業員の働きを労働の対価として認めてきた。男女は差別なく平等でなくてはいいけない。後継者を作るためにも、第56条の廃止が必要である。

反対討論

・平成27年6月定例会に提出された時に反対した立場であり、前回と内容も変わっていないので今回も賛成できない。

この後採決に入り、本請願を採択することに賛成とする委員は2名で挙手少数となった。次に、本請願を不採択とすることに賛成とする委員は3名で挙手多数となり、不採択とすることに決定した。

総務委員会 6/20

総務委員会に付託された議案は次の1議案で、その結果と主な審査内容は次のとおり。

結果	議案名
可決	平成28年度瑞穂市一般会計補正予算(第1号)

可決 平成28年度瑞穂市一般会計
補正予算(第1号)

可決 平成28年度瑞穂市国民健康保険
事業特別会計補正予算(第1号)

【Q】国民健康保険が一本化になるためシステム改修をするが、各市町は保険税賦課徴収についてどのような方式で行うのか。システムのにも一本になっていくのか。色々な方法があるのか。

【A】岐阜県下の市町村で、国民健康保険の一本化に向けて今年から準備が始まり、当市も立ち上げの委員になっているが、今はまだ何も決まっていない状況である。国は将来的に県内の保険税賦課を一本化すると言っているが、今の段階でわかっていることは、国民健康保険が一本化されてから5年間は、県下の市町村は今の賦課状況のままで、岐阜県が国保事業に必要な費用を納付金として各市町村に割り当てるため、当市は現状のまま保険税を賦課徴収し、その納付金を県に納める仕組みになる。詳細についてはこれからの立ち上げ委員会で調整し、決めていくことになる。

【Q】市町村により医療費関係はまちまちである。これについて県は積極的に関与しないのか。

【A】本来、国保特別会計は独立して運営していくことが基本である。国保特別会計へ法定外の繰入をする場合もあるが、国の方針は法定外繰入を少しでも無くす方向だと聞いている。

【Q】保険税の引き上げの心配はないのか。

この議案について各常任委員会でも所管部分の協議をした結果、文教厚生委員会から意見があり、その件について執行部より説明を受けた。その後、総務委員会では主に次のような質疑があった。

【Q】なぜ穂積小学校区のみ子ども緊急通報装置が7基設置されていたのか。

【A】国が全国47都道府県に1箇所ずつ緊急通報装置をモデル的に設置することを決定し、岐阜県内では当市が選ばれた。市内の中で穂積小学校区が選ばれた理由は、交通量が多く犯罪発生率が高いことが理由と思われる。

【Q】市内全体では設置する予定はあるのか。

【A】市内には他に牛牧小学校区に安全サポートブザーが3基設置されているので、あるものを有効活用し、どこが危険な場所かP.T.Aと相談して判断していきたい。

【Q】なぜ国からの払い下げが遅くなったのか、またこれを修繕するために補助金はないのか。

【A】今まで国からの払い下げは前例がなく、県から国への手続きに時間がかかり、今年の2月に払い下げを受けることができた。調査したが活用できる補助金はなかった。

【A】か。
今の段階でははっきりわからない。

【Q】国民健康保険税が高すぎる。国民健康保険税が払えない世帯が当市にどれだけあるのか。今が準備段階だから考えて欲しい。一本化は国のもとで行われるので、市民の不安に 대응することが大切である。当市としての率直な意見を県に上げることが必要である。

【A】確実な情報を収集して、なるべく早く情報提供する。

【Q】各県ごとに負担基準を変えることは可能なのか。

【A】県ごとに法令を超えるような特殊な方法はない。

付託された1議案について、本委員会では採決の結果、全会一致で原案のとおり可決され、本会議に報告されることとなった。

不採択 所得税法第56条の廃止を
求める請願

初めに紹介議員より請願内容についての説明があった。

所得税法第56条は、一言で言うとな実際に働きがある家族従業員の働き分を必要経費に認めない。理由は、中小企業は家族全体の協力で成り立つものが多く、①企業と家庭が十分に分けられていない、②親族に対し

本会議 (最終日)

各常任委員会からの委員長報告の後、それぞれの議案に対する質疑・討論・採決が行われた。(採決結果は16ページ参照)

審議された主なもの

不採択 所得税法第56条の廃止を
求める請願

【Q】昨年度も6月に提出された案件であるが、昨年の内容についても報告説明がされ審査したのか。

【A】説明や話し合いは何もなかった。それに関する質問もなかった。

【Q】昨年の請願の内容を、請願提出者に説明すべきではなかったのか。

【A】委員長としては、話さない方がいいと判断した。

賛成討論

第56条があることにより社会の中で不都合が起きているなら廃止すべきである。

反対討論

第56条は租税回避のために設けられたものである。男女共同参画の観点から鑑みれば否定すべきではないが、第57条との関連性を見ればよく検討すべきである。国の所管に関する内容であるので、地方で議論することは差し控

えた方がいいと考える。

賛成討論

一年間で大きく状況も変わった。ジュネーブでの国連からの女性差別撤廃条約に基づく勧告もあり、第56条は個人の尊厳、男女差別に反する差別的なものである。白色申告だから配偶者の働きを認めないということはその根拠が無い。第57条との関連性もあるがまず第56条は廃止すべきである。

反対討論

第56条だけを見ると、正当な労働に対する対価を認めないことについては法の不備を感じる。ただし、労働対価のみを考えると第57条の青色申告制度により対処できる。青色申告には、記帳の義務化があるが、事業を行うには記帳は必要不可欠なものであると考える。親族に対して支払われる労働対価の違法性のみで第56条を廃止するより、記帳制度の普及推進を目的とする数々の特典を設けている青色申告制度の存続必要性の有無、個人の事業所得に対する課税方法に対して問題提起し、第56条・第57条の整合性をはじめとして広く論議されるべきである。

わが国は自主申告制度であるので、申告される側にも申告の根拠となる帳簿類の整理をはじめ、申告制度の正しい理解と雇用の導入が必要であると考えるため反対である。

賛成討論

青色申告すればいいという壁がある。閣議決定、国連の勧告、執行部の説明等、課税の仕方は個人であり、家族単位で認めるのはおかしい。反対者の意見は事務的な事ばかりである。法律を作る時の国の考えかたは、事務的なものだけではない。

これらの質疑・討論の後、採決の結果、賛成少数で不採択とした。

同意 瑞穂市教育委員会の委員の任命について

教育委員会の委員の河合和義氏の任期が平成28年7月4日に満了となることから、新たに森下伊三男氏を教育委員会の委員として任命したいので議会の同意を求めるもので、議会は全会一致で同意した。

森下 伊三男 大垣市木戸町
(敬称略)

【決めたとなった考え方や人柄は。】
障がいのある方々に思いやりがあり、ひたむきな方である。また、教育実習について一生懸命な方である。

【河合委員が今回辞職されるに至った経緯は。】
委員本人から「任期満了であり自分自身も納得できる働きができたので辞めたい」との申し出があった。



今木啓一郎議員

【構想策定事業の基本的な考えは。】

【政策企画監】 市を中心とした圏域約15万人の中心駅としての穂積駅の利便性を高めるための構想である。

【構想策定事業の策定期間、審議会等の構成など全体的なスキームは。】

【政策企画監】 今年度中には策定し、行政のみではなく市民の方の意見を取り入れるため、(仮称)穂積駅拠点化構想推進協議会を

グローバル化対応教育推進について

【情報活用能力を身に付けるとともに、子どもたちの学習の関心・意欲を深めるために必要なICT教育機器とは。】

【教育長】 タブレット端末、電子黒板、実物投影機が有効と考えている。

【優先的に導入すべきものとその配置数は。】

【教育長】 電子黒板と実物投影機を優先的に導入す

穂積駅圏域拠点化構 想策定事業について

圏域公共交通の結節点とする

設立し構想を策定したい。

【業務委託するコンサルタント業者の選定方式についての考えは。】

【政策企画監】 多岐分野の技術力が必要とするので、価格の安さだけで選定するのではなく、公募型プロポーザル方式を採用する。

【分煙の立場を考えながら、駅付近の美観や利用客の安全確保のため、駅周辺に「路上喫煙禁止区域」の



▲穂積駅南口

設定の考えは。

【政策企画監】 市の玄関口として魅力を上させる施策の1つに駅周辺に路上喫煙禁止区域を設けることを検討したい。

【修会を行い、ICT教育先進校から講師を招き、7月に研修会を計画している。

【英語力の一層の充実のための具体的な方策とは。】

【教育長】 市では6人のALTを雇用し、各学校の実態に応じた活用ができるよう幼稚園や小中学校へ派遣している。また、朝日大学の留学生と連携し、中学校の英語教育に活用したい。

【他方面での自治体関係の兼職の調査もきちんとしたのか。】
かなりの時間をかけて調査した。

これらの質疑の後、討論なく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決した。

意見書

本定例会に提出された意見書は2件で、採決の結果は次のとおりでした。

・待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

発議者 若井千尋

可決

・「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書

発議者 小川 理

否決

平成28年第3回定例会日程のお知らせ ～あなたも議会を傍聴してみませんか～

(場所) 瑞穂市役所 穂積庁舎3F 議場
(時間) 午前9時から

日にち	曜日	会 議 の 内 容
9/8	木	本会議 (初日・議案提案説明)
9/14	水	本会議 (総括質疑・委員会付託)
9/27	火	本会議 (一般質問)
9/28	水	本会議 (一般質問)
9/30	金	本会議 (最終日・委員長報告・質疑・討論・採決)

※日程は、変更になる場合があります。

運動教室により医療費削減

副市長 教育委員会と福祉部が連携

1名、ゲートボール大会に120名、運動会に577名、軽スポーツ岐阜地区大会に58名の参加となっている。また身体障害者福祉協会の活動に対しては、市から補助金を交付して支援し、毎年開催される市身体障害者福祉協会の運動会は、障がい者スポーツ振興の一助となっている。

【その教室等の成果は。】

【福祉部長】 瑞穂市健康増進計画においては、生涯を通じた適切な生活習慣の定着のため、運動習慣のある人や日常生活において体を動かすようにしている人を増やすことを目標としている。健康推進課では、健康寿命の延伸が目的である運動教室2事業を開催しており、その成果として運動する人が増えてきている。

【全市民にスポーツ等を通じた健康意識をどのように高めていくのか。】

【教育次長】 スポーツのきっかけを求めている人に



▲運動教室の様子



若園正博議員

防災無線メール配信について

総務部長 総務課にて登録補助をしている。今後は東南庁舎市民窓口課及び関係部署にも協力依頼し、

Q 防災無線メール配信の登録方法の手伝いを窓口でできないか。

庁舎の耐震について

Q 穂積庁舎・東南庁舎の耐震性について。

A **総務部長** 穂積庁舎は昭和40年に新築、平成11年にI s値が0.9となる耐震補強工事をした。東南庁舎は昭和62年に竣工し、新耐震基準で設計されている。震度6強から震度7の揺れが起きても躯体自体は維持される。

MSキッズについて

Q 地域ボランティア活動組織、MSキッズの活動状況について

A **教育長** 「自分たちの地域や学校をよりよくしていこう」という願いのもと活動し、本年度から小学校でも取り組みが始まった。現在は児童会役員が中心となり、会員数は125人で



▲MSキッズ活動開始の南小学校

地域と共にある学校づくり 「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みと構築について

A **教育長** 「瑞穂市教育大綱」の3点目に地域が子どもを育てるという考え方が示されている。現在コミュニティ・スクールと呼ぶのは「学校運営協議会」のことで、保護者、



若園五朗議員

瑞穂市の教育方針について

教育長 子どもたちの可能性を大切にした教育

Q 新教育制度になって初の教育長だが、任された3年間の市の教育方針は。保護者の期待は何と考えるか。

A **教育長** 今まで実施されてきた市の教育施策一つ

防災対策・公共施設の整備について

Q 市民から中心市街地から離れた公共施設避難場所確保の強い要望がある。避難場所を増やし、避難場所の看板もわかりやすく大きい物に替えてはどうか。

A **総務部長** 市内で避難所となりそうな民間施設があれば、防災協定を締結し避難所を確保する。看板等は、今後移住された方もわかるような形を考えていく。

Q 増加する空き家の活用、抑制についてどの様に進めていくのか。

A **都市整備部長** 調査の結果をもとに空家等対策協議会に諮って、空き家の適正管理や利活用を図るよう

一つを確かめたい。瑞穂の子どもたちに確かな力を身につけ、子どもたちの可能性を大切にする教育を進めていきたい。これが保護者の願いでもあると考える。



▲英語教育推進校一生津小一

空家等対策計画を策定する。

みずほバスについて

Q みずほバスの運営について路線改善に関する強い要望を聞いているが、今後、運行路線の再検討をどのように進めていくのか。

A **総務部長** 公共交通調査結果を踏まえ、利便性の向上とかかる経費を慎重に検討し、公共交通会議で協議したい。

中山道の美江寺宿・小簾紅園の整備について

Q 美江寺宿のPR、美江寺宿跡から呂久小簾紅園までのウォーキングコースの整備委託の構想は如何か。

A **都市整備部長** 美江寺

朝日大学と連携したまちづくり事業について

Q 来年度に新しい学部の新設が予定されているがどのように関わっていくのか。

A **市長** 新しい学科の創設や市による柳一色橋歩道橋整備等、大学との連携が益々増えていくことから、新しいブランニングに精一杯協力してやっていきたい。



松野藤四郎議員

小中学校の教員の配置について

教育長 欠員には常勤講師を配置し対応

Q 最近教員の大量退職が続いている。当市の不足数とその補充は出来ているのか。

A **教育長** 欠員教員数は22名で、全て常勤講師で補充が出来ている。

Q 学級担任に常勤講師がいる。今年度の状況は。

A **教育長** 小学校で22名、中学校で6名の合計28名が

待機児童対策と補助職員等の賃金引き上げについて

Q 待機児童は3年連続県下ワースト1である。最大の理由は保育士の給与が低い。処遇改善をどのように考えているのか。

A **企画部長** 正職員の保育士の給与等は、一般行政職と同じである。

Q 老朽化している穂積保育所の建て替え時期と運営方式について。

A **教育次長** 建て替えは平成30年の予定である。運営などは各種審議会での諮

学級担任を行っている。

Q 多くの臨時教諭がいる中、指導力があるとは考えられない。また学力低下にもつながらないか懸念している。どのように認識しているのか。

A **教育長** 教員経験者もおり十分にできると判断している。また、新任の教員と同様に若手講師には、OJTや若手研修などを行い、

小中学校の教員の配置 (平成28年5月現在)

	穂積小	本田小	牛牧小	生津小	南小
正規職員	28	20	25	16	21
常勤講師	5	3	5	3	3
講師が担任	4	2	5	2	3

	中小	西小	穂積中	穂積北中	東南中
正規職員	8	12	29	20	20
常勤講師	2	4	7	3	7
講師が担任	2	4	1	2	3

問・答申や、保育・教育事業者等の意見を参考にして進めたい。

穂積庁舎の建て替えについて

Q 穂積庁舎は築50年経過し、柱や外壁に亀裂が生じている。今後の建替時期は。

A **副市長** 将来的には新しい施設を作ることで、基金の積み立て等を考えたい。

熊本地震の発生による瑞穂市の対応について

Q 熊本地震では保健師1名を派遣しているが、なぜ



堀 武議員

Q この現状を市はどのようにに理解しているか。

A **福祉部長** 子ども貧困に対しては、今、大きな社会問題となっており、深刻さをさらに深めている。どの子どもも明るい未来の夢が実現できるように瑞穂市第2次総合計画では、市の目指す将来像を「誰もが未来を描けるまち」としている。積極的に取り組み、先進自治体との格差が生じないように進めていきたい。

Q 「第2次瑞穂市地域福祉活動計画」の学習支援事業は平成30年からとなっているが、その方向性は。

A **福祉部長** 子ども貧困学習支援が社会的問題の大きさや緊急性から、再度、社会福祉協議会と検討を重ねた結果、今年度の夏休み中にこのモデル事業を実施することになった。

Q 子ども貧困対策として学習支援は平成29年度から実施する必要があるのでは。

A **福祉部長** 市内のNPO団体から、この夏季休業中に学習支援を行いたいと

別府水源地配水池新設工事について

Q 別府水源地配水池新設工事の制限付き一般競争入札の参加資格は適正か。

A **総務部長** 現時点では、一般競争入札としては条件をもう少し広げればよかったと考えている。そこで、実績等を確認できるテクリス、コリンズを今より導入し、該当する業者を広く

子ども貧困対策について

福祉部長 積極的に進めていく

Q この現状を市はどのようにに理解しているか。

A **福祉部長** 子ども貧困学習支援が社会的問題の大きさや緊急性から、再度、社会福祉協議会と検討を重ねた結果、今年度の夏休み中にこのモデル事業を実施することになった。

Q 子ども貧困対策として学習支援は平成29年度から実施する必要があるのでは。

A **福祉部長** 市内のNPO団体から、この夏季休業中に学習支援を行いたいと

穂積庁舎校の伐採について

Q 桜伐採は適切な処理か。

A **総務部長** 防災通信システム更新工事のための伐採であるが、市の木である桜への配慮が足りなかった。



公共下水道事業について

Q 下水道事業の今後は。

A **政策企画監** まちの将来像「誰もが未来を描けるまち瑞穂」、暮らしやすさと自然環境との共生を実現できるまちづくりを推進するために、関係部局と連携し、課題の重要度を認識し、引き続き、その解決に向けて取り組んでいく。



松野貴志議員

路上喫煙禁止条例の制定について

市長 美しいまち瑞穂や駅周辺をつくるために進めていきたい

市

Q 駅付近でタバコのポイ捨てが多い。歩きタバコによる火傷やポイ捨てに市はどう対応しているのか。

A 環境水道部長 喫煙者のモラルによるところではあるが、喫煙マナーの遵守、啓発を進めている。

Q 啓蒙や啓発活動では効果が薄いように思う。まずは、駅の北と南側に喫煙所を設置してはどうか。

Q 全国では路上喫煙を規制する動きが広がっている。近隣では、岐阜市が条例化している。当市も喫煙所を設置し分煙を図り、ポイ捨て防止、火傷や火災、煙による迷惑防止のために条例制定が必要と思うがどうか。

A 市長 まずは、啓蒙・啓発活動があつて、その先に条例整備やエリア



▲駅前ポイ捨て禁止表示

学校給食費の補助について

Q 近年、教育費の保護者負担軽減を図る自治体が増えている。当市も給食費補助に踏み切った場合の効果はどう考えているのか。

A 教育次長 効果は子育て世帯の経済的負担の軽減であるが、財政的な負担が大きくなるという課題もある。

Q 財政的な負担増は大きい給食費の一部補助は実現可能ではないのか。また、補助負担を地域振興券に置き換え商業活性化と重ねてはできないのか。

A 副市長 地域振興券の活用となると、地域内の消費の拡大などのメリットもあるが、一部の企業のみがいい影響がでるなど公平性を欠いたり、換金に時間がかかるなどのデメリットも多い。全体的な事務を考慮すると、できるだけ簡素に効率的に進めていかなければならず、全庁的な対応も必要となるため、全体的に考えた。



杉原克巳議員

一般財源の確保について

市税徴収率向上

Q 自主財源の安定収入確保の施策は。

A 企画部長 市税徴収率向上や、使用料、手数料などの適正な受益者負担、未利用地の貸し付けや処分、あるいは国・県補助金の最大限の活用、ふるさと納税から収入を増やすことを考えている。

Q 臨時財政対策債は市の財政圧迫にならないか。

A 企画部長 経常収支比率・将来の負担比率の動向を注視しつつ必要最小限の発行に努めたい。

Q 新地方公会計制度の導入・推進とは具体的に何か。

A 企画部長 当市では基準モデルを採用し、今回統一の基準が示された。平成27年度から29年度までの3年間で作成要請があり、現在、システムの移行への関係を調整している。

地場産業の支援策について

Q 瑞穂市発祥の富有柿のマスメディア戦略について

A 都市整備部長 販売サイト等については、現在は青年就農者である柿生産者の方も既に個人的にホームページ等を立ち上げている。また、市のホームページとリンクさせることも検討している。



▲富有柿PR看板

子どもの貧困対策について

Q 子ども貧困問題に連携して取り組む「子どもの未来を応援する首長連合」の設立趣旨と行政の対応は。

A 福祉部長 市内には子どもの学習支援や子ども食堂をしていきたいというようなNPOの活動団体が見えるので、この方たちへの情報提供をしていきたい。



くまがいさちこ議員

施策の情報共有と連携について

副市長 情報共有は文書で行うよう徹底する

Q 市民の要望を都市整備部職員に伝えたところ、「解決できない」と結論が寄せられたが、別ルートで伝わった部長からは、その数日前に「解決済み」の結論が出ていた。真面目に取り組んだ職員の仕事は無為になった。部内の情報共有はどうなっているのか。

A 都市整備部長 通常、決裁の形で報告があるが、今回は情報共有がうまくできていなかった。

教育振興基本計画について

Q 瑞穂市は中長期の教育（保育を含む）振興基本計画を立ててないことが待機児童増にも繋がっている。計画策定の予定は。

A 教育長 策定委員の選考に取り掛かっている。

子ども議会

Q 子ども議会の目的は「各学校の頑張っている子が認

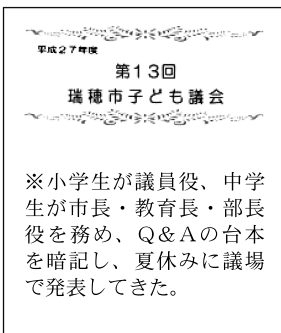
Q 多岐にわたって困難を抱える生活困窮者には、庁舎内及び関連機関の情報共有と連携が必要である。例えば子どもの貧困に関して中学入学の制服等のリサイクル、子ども食堂、学習支援など、福祉・学校・市民団体に連携できないか。

A 教育長 中学校では制服のリサイクルに取り組んでいる。今後は必要な人に情報が届くよう考えたい。

Q 公共下水道計画について、処理場候補地に「反対

A 教育長 子ども議会

Q 瑞穂市子ども議会



※小学生が議員役、中学生が市長・教育長・部局長役を務め、Q&Aの台本で発表してきた。



鳥居佳史議員

公共下水道事業に関連して

積極的に進めたい

Q 本田団地の集合汚水の現況は、道路内の既設埋設污水管が劣化し支障が出ている。公共下水道事業の実施いかに関わりなく、廃棄処分または撤去に際して

A 環境水道部長 埋設施設は、本田団地住民の共有財産であり、組合内で話し合っていたり、組合内であるため、行政が工事費等説明

待機児童解消に向けて

Q 朝・夕の家事時間は働きに出づら。保育士は、将来を担う子供の世話をする仕事なので、現在の時間給を市単独で割り増しする事で確保が可能と思うが。

A 企画部長 国の動きや他市の実情、正規職員との給与バランスを勘案しながら考えていく必要がある。

（仮称）協働推進課の設置について

Q 瑞穂市第2次総合計画実施計画で平成29年度に（仮称）協働推進課の設置が明記されているが進捗状況は。

A 企画部長 組織体制に対する現状、課題、改善、連携方法など調査中である。



▲穂積駅南口周辺

穂積駅周辺拠点化構想について

Q 計画策定の業者をプロポーザルで決めることには賛成であるが、来年の3月までの期限は短く、住民の考えが十分反映できないのではないかと。また、駅移動の是非の総括をするべきと思うが。

木造住宅耐震補強工事の補助金の増額について

Q 木造住宅耐震補強工事の実績が耐震診断の実施後実際に補強工事をする家は25%しかなく、補助金の額を現行より多くし、耐震工事をしやすくすべきではないか。

A 都市整備部長 一定の公平性を保つため、国・県・市のルールに沿った形で補助することが適切であると考える。

議案の審議結果

(平成28年第1回瑞穂市議会臨時会 5/2)

(平成28年第2回瑞穂市議会定例会 6/9～6/28)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥

新…新生クラブ、瑞…瑞清クラブ、創…創生クラブ、民…民進党瑞穂会、改…改革、み…みづほ会、公…公明党、共…日本共産党、無…無会派 議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。(議長 藤橋礼治)

議 案 名 等			議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果	無	新	瑞	創	民	改	み	公	共	無					議決月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					藤橋礼治	◎若園五朗	広瀬時男	◎清水治	松野貴志	◎若園正博	◎今木啓一郎	◎松野藤四郎	◎くまいさちこ	◎堀武	◎若井千尋	◎小川理	◎小川理	◎若井千尋		◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋	◎若井千尋



委員
北倉利治



委員
くまがいさちこ



副委員長
松野貴志



委員長
松野藤四郎

(議会広報編集委員一同)

私達は、今年度新たに議会広報編集委員に選任されました。この委員会では、議会だよりの編集および発行を行います。議会だよりは、議会で審議された内容を市民の皆様へ広くお知らせするため、年4回発行しています。

記載内容については、わかりやすくお伝えできるように心がけ、編集委員一同、議会だよりの編集に取り組んでいきます。

市民の皆様からのご意見ご要望がありましたら、少しでもお寄せください。これからの編集に反映させていきたいと思っております。

議会広報編集委員会